子供と向き合う時間を確保するために

1　目的教員が心にゆとりをもって、子供とじっくり向き合うことができる教育の実現に向けて、教員の負担感・多忙感を軽減するための環境づくりに努める。

2　内容

① 会議の効率化

・連絡、確認事項等の中で、会議において確実な周知徹底を必要としない事項はグループウェアで連絡、確認するなどして連絡方法の効率化を図る。

・職員会議等を効率的に行い、事務処理時間の確保に努める。

② 学校行事の負担軽減

・各行事の目的、教育効果、教師間の連携等を再検討し、目的や内容が重複するものは廃止や縮減等の精選に取り組む。

・学校行事の中で、教育的に必要なものか、慣例で行っているものかなどについて再検討し、行事の精選を徹底する。

③ 校内組織の見直し

・各分掌の主担当、副担当の業務を明確にし、出張等を含めて分担し協働体制を確立する。

・業務の多い職員の負担軽減を検討する。

④ 業務の効率化

・業務分掌のマニュアル化、電子データの共有化をさらに推し進め、作業効率を高める。業務引継ぎ資料をわかりやすく作成し、後任の負担を軽減する。

⑤ 地域人材の活用

・学校に必要なボランティアを募る業務を軽減する方法を模索し、地域の方々の意見を取り入れながら、負担の少ない業務方法を検討する。

⑥運動会実施の工夫

・負担量の多い業務、経費のかかる作業をいかに軽減するかを検討する。

・運動会に係る負担の軽減と練習における移動の危険性を軽減するため、保護者の協力体制について検討する。